

市報

とおがまち

編集発行 / 十日町市役所(電話07-3111)毎月10日 / 昭和32年6月5日第3種郵便物認可(11部6円)

8/10

August

□238号□



「お出な
越後の國から
に見えたら
な」といふ

筆有の民話 十日町市江道の巻
天狗さまをだました話

★昔、江道の部落に佐治衛門という男が住んでいたそうなの
(内容は最終ページの折返しをご覧ください)

郷土に生きる(その2)

産業で活躍しよう

場の現状を探る

一市民から「圖案関係が好き 手紙がこのほど寄せられました。なので、訓練校に新設されたデザイン科に入校し、将来、産地の一員として働きたいのですが、入校手続きを知りたい」という

物関係の知識、技術を学んでい

本市の地場産業である織物は、年間五百六十四億円(昭和五十年)の生産をあげ、全国でも有数の高級絹織物の総合産地として名を馳せています。織物産業の就業者数は約二万人と本市全就業者の七割をしめています。これらの人達の間で、染織講習所(訓練校の前身)や十日町専修職業訓練校(工業技術センター十日町試験場併設、十日町実業高校(色染化学科、繊維工学科)等で織維産業の知識、技術などの基礎を学び、地元企業で中堅として働いている人が多くいます。「企業は人なり」といわれ、優秀な人材のいる企業は伸びています。十日町織物が今日の発展をみたのも、織維関係の知識技術を身につけた有能な人材が地元で定着したことも原因のひとつとして考えられます。

今月は、こうした観点から織物の基礎知識、技術を指導する県立十日町専修職業訓練校と、同施設に併設されている県立工業技術センター十日町試験場の現状についてレポートしてみました。



染色技能士をめざして……

このほど訓練校の染色実習室を会場に、かせ系浸染作業試行技能検定(染色トライアル)が行われました。これは染色技能士制度を望む各産地の要望で、労働省の中央審議会が本検定の問題集づくりのため行ったもので、全国初の試行検定。当日は、地元をはじめ京都、八王子などの産地から染色技術者が訪れ、技術を競いあいました。

ます。「訓練校」あるいは「十日町試験場」といってもご存知ない方も講習所といえは、ご理解いただけるほど、現施設の前身、県立十日町染織学校(明治四十年開校)あるいは、県染織講習所(大正三年)は、地場産業の育成について長い伝統と歴史をもち、これまでおよそ三千名の卒業生が、地元企業をはじめ、県内外の織維産業の技術者や指導者また経営者としてそれぞれ過去、現在にわたって活躍されました。

しかし、同校の修了生は、別表のとおり、最近減少傾向にあります。この原因は、上級学校への進学率の増加、志望職種「事務系」の増加などいろいろ考えられますが、地場産業の中堅技術者として、知識及び技術を生かし、地場産業で活躍する修了生が年々減少している現状は、

専修職業訓練校の概要

県立十日町専修職業訓練校 織維産業に従事する人を対象に基礎的知識と技能を訓練して有能な職業人を養成し、職業の安定と労働者の地位向上を図るとともに経済及び社会の発展に

寄与することを目的に「染色科」「織機調整科」「デザイン科」が設置されています。特に、織維産業界に必要な知識、技能を身につけさせ、産業界で最も要望されている技術者の育成をめざしています。

機械技術を学ぶ

準備、製織、分解設計等の基本実習を学び、産地の中堅技術者として活躍します。



田中一幸 (安第2)

産地がくしゃみをすれば 市財政もくしゃみをすれば

産地が不況でくしゃみをすれば、市財政もくしゃみをすれば、市財政もくしゃみをすれば、市と織物産地といわれるほど、市と織物産地とのかわりあいには深くなつて



渡辺康一 十日町公共職業訓練校 指導官

訓練校で織物技術を

仕事に合わない等の理由で引退された方は昭和四十九年百三十五人、昭和五十年度九十一人でした。地元は織維関係の求人が多いにもかかわらず未経験者等の理由で就職できない人がたくさんいます。職業訓練校で基礎技術を学び就職されることをおすすめます。

修了生は、就職率百パーセントで別表のとおりほとんどが地元企業に就職しています。なお、訓練校では地元産業界の製品多用化、高付加価値化、省力化等の要請にこたえるため、昭和五十二年度から組織機能を充実し、「染色科」を「染色工芸科」、「織機調整科」を「機械科」とし、さらにデザイン科を加え、高卒者を対象に高等訓練課程入校者を募集する予定です。



技術を身につけ織物

訓練校と十日町試験

応募手続の方法は

募集人員

- 機織科……………二十名
- 染色工芸科…………二十名
- デザイン科…………二十名

高卒者を対象とした一年制で業界の現状と将来の展望にマッチした実技のほか、理論的裏付けとなる技術的知識の習得を目的としています。教科の内容は、二科とも一般学科及び専門学科、実習を学びます。

術者として、あるいは、デザイン担当として必要な機織技術、工芸染色、染織デザインの技術を専攻修得します。

応募資格

昭和五十一年三月高校卒業見込者及び若年離職者、地場産業後継者、または業界から派遣される高卒者で色、神正常者。従来から行われている中卒対象者の履習の道も開かれています。くわしいことは、訓練校（☎七一一〇五番）か十日町公共職業安定所（☎七二二四〇七番）へおたずねください。

地場産業である織物のデザイン担当をめざし、基本実習を学ぶデザイン科の生徒たち—。描写、色彩、図形、デザインモチーフ等を実習し、和洋服の染織デザインを専攻します。

県立十日町専修職業訓練校の沿革

- 明治33年 9月 中魚沼郡立染織学校設立認可
- 〃 34年 4月 授業開始
- 〃 40年 4月 県立十日町染織学校となる
- 〃 43年 4月 組合立十日町染織講習所となる
- 〃 44年 4月 郡立実業学校となる
- 大正 3年 4月 新潟県染織講習所となる
- 昭和24年 8月 新潟県織維工業講習所と改称される
- 〃 31年 4月 新潟県十日町公共職業補導所、新潟県織維工業試験場十日町分場併置される
- 〃 32年 10月 本館改築、寄宿舎移築、工場一部改修工事落成
- 〃 33年 7月 訓練法改正により新潟県十日町職業訓練所と改称される
- 〃 37年 10月 新工場落成
- 〃 40年 4月 新潟県工業技術センター十日町試験場と改称される
- 〃 42年 染色実習工場改築
- 〃 43年 織機調整工実習工場改築
- 〃 44年 10月 職業訓練法改正により新潟県十日町専修職業訓練校と改称される
- 〃 47年 4月 新潟県十日町専修職業訓練校にデザイン科を新設

授業料、実習材料費は無料です。また技能者育成資金（月額六千円）の貸付けが受けられます。学割や派遣訓練給付金支

在校中の特典

授業者、実習材料費は無料です。また技能者育成資金（月額六千円）の貸付けが受けられます。学割や派遣訓練給付金支えられ、地場産業である織物企業の資格が与えられます。

修了後の特典

また、二級技能検定の学科試験が免除され、技能士補として七年間実務を経験すると指導員の資格が与えられます。

選考期日と申込方法

十月三日（日）午前九時から専修職業訓練校で、学科試験（国語、数学I）と面接を行います。申し込み方法は、専修職業安定所または十日町公共職業安定所に用紙がありますので、お申し込みください。



業安定所（☎七二二四〇七番）へおたずねください。

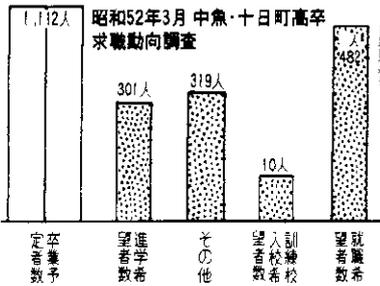
我が母校は訓練校



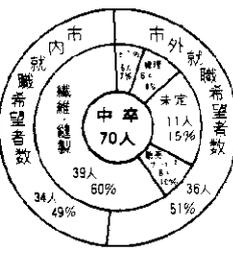
小林アツ子 城之古

名前は知っていても、実際の内容はわからない人が多いのではないかと思います。十日町産地の織維関係の仕事に携わる人、これから郷土の伝統産業のために若い情熱を燃やそうとしている人に、是非とも利用してもらいたい、学校です。私は、昭和四十七年に図案科（デザイン科）に入学しました。設備がとても良く整っており専門的に教えてくださる先生方もいらっしゃるのです。やる気さえあれば随分いろんなことが学べます。私はデザインの知識・技術のほか、人間関係も学ぶことができました。一年間の訓練が終わった後、就職してからも役に立つことがたくさんあります。厳しい状況の中にある今、学校として、多くの人が利用し、勉強し、産地発展のために益々貢献して欲しいものだと思います。我が母校・訓練校、私は、胸をはって仕事に取り組んでいる毎日です。（滝文工業（織デザイン係）

業の中堅技術者として活躍します。



就職希望職種の内訳



卒業予定者 1,287人

進学希望者 1,180人

訓練校入校希望者 10人

就職希望者 70人

その他 27人

昭和52年3月中魚・十日町中卒
求職動向調査

51年5月31日現在
十日町公共職業安定所調べ

電話アンケート

訓練校・試験場の名を知っていますか



講習所の名前を聞いたことがありますか



訓練校に入る人が減っているのを知っていますか



試験場は産地に役立つと思いますか



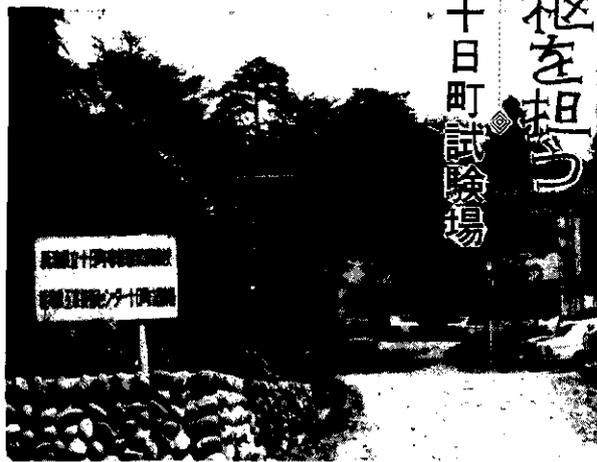
地場産業の将来にとって、新製品と新技術の開発は益々重要な課題となっており、その面からも、訓練校に併設している県立工業技術センター十日町試験場は、産地の発展に欠くことのできない施設です。このほど、企画広報係が市民五十人を無作為抽出し、電話で別表のアンケート調査を行ったところ、八九%の人が十日町試験場は、産地にとって役立つと答えています。

この調査は、別の角度で、たとえば、織物関連職種の人を対象に実施すれば、「産地に役立つ」と答える数字はもっと多くなると思います。このように、十日町試験場は、織物関係の試験研究、市内工場への依頼試験、技術相談、助言など、地場産業のサービス機関として活躍しており、地場産業に従事する人々から大変喜ばれています。また、共

同研究を行ったり、夜間は、産地の若手織物研究グループなどに、同施設を開放するなど、織物関係の研究に対して便宜をはかっています。流行をリードする織物産業は、常に新製品と新技術の開発が求められており、産地にある十日町試験場の存在価値は、益々高くなっているといえます。



新製品開発の中枢を担う
工業技術センター十日町試験場



昭和47年には、デザイン科新設に伴い、モダンな建物も建設されました。また、1,080平方メートルの染色、織機調整、試作工場と織物製造に必要な機械及び各種試験機器が用意されています。



佐藤 栄作
十日町商工会議所
専務理事

工業技術センター十日町試験場の
内容充実を

十日町織物等の付加価値産業は、常に最新の知識技術が求められています。そのなかで、県機関の行政サービスとむいづべき、十日町試験場は織物関係の試験・研究・指導助言を行い、地場産業の育成に大きな役割を果たしてきました。現在も活発に利用されています。最近、県のプロジェク

トチームは、県内各地の試験、研究機関の統廃合の方針をうちだし、その実態調査を進めておられると聞いておりますが、私は多様化している十日町産地にとって、織物の試験、研究機関は益々必要な施設であり、むしろ地場産業育成の見地から、十日町試験場の施設設備等内容の充実が急務であると考えています。



塩川 富平
専務副専任試験場長
十日町試験場長

地域産業のサービス
機関

七十年の伝統をもつ、本校は一貫して、業界や地域のニーズに応え、地域産業の振興と雇用安定に寄与してきました。

製造業にとって、先端技術を模索する試験研究と製品の質的向上を預る中堅技術者の養成は企業の根本を支える車の両輪であるといわれます。さらに、中小企業にとって、独自の技術と製品を持つこと、それを創り出

す後継者の育成は、益々重要なことですが、いずれも巨額の先行投資と日時を要し、単独では賄いきれないものがあるうかと存じます。その隘路を補う意味で、私共は、技術指導相談と質のよい訓練の源泉である試験研究機能の充実強化を図る必要があります。また、それを踏まえたいより充実した後継者の育成をめざし、明年から高卒者対象に訓練を行うことになりました。

地場産業振興による地域経済の安定と「身近な職場から安定した収入を得ることが安定した生活設計の基盤である」という観点から、市民のみなさんのご理解と、協力をお願いします。



染織の依頼試験で活躍する所員

同試験場には、各企業から織物の試験研究や技術相談に訪れる人が多い。

手描友禅で活躍
訓練校を修了し、手描友禅の仕事について一年半。柄の作成、色彩美学、服飾美術史などの知識が仕事に役立っています。最近では、機械化が進んだとは言え、こうした多くの人の手間を経たあじ



齊木 広 (宮下東区)

優秀な染色技術者に期待
同校の修了生を採用しています。また、技術相談等で試験場



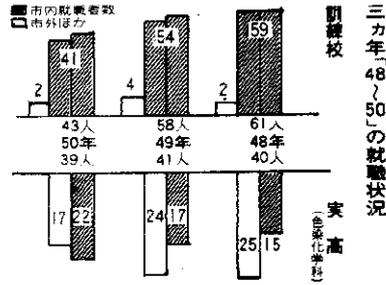
根津 幸雄 (根津染織機材社長)



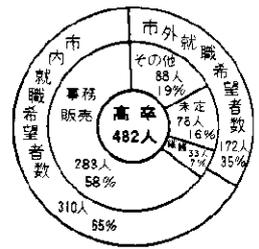
佐藤 幸三 (藤原工業機材商會専務)

わい深い着物が一番のような気がします。みなさんも訓練校と十日町試験場の設備を活用し、先生方の技術をわがものにするよう頑張ってください。

訓練校の充実とセンターの存続を
訓練校の生徒が減ってきてしまっているから、高卒を受け入れるようにしたらどうだろう。業界の技術相談所でもある工業技術センターの統合を検討中という。存続の答申を強く望みたいものだ。若者に、魅力のない産業に未来の発展があるだろうか。訓練校の充実はもちろんのこと、センター存続のために、識者、業界の問題認識と強力なご人れをお願いしたい。



就職希望職種の内訳



70年の伝統と技術をもつ 十日町試験場

十日町織物が京都の西陣とならんで、全国有数の産地として、君臨しているのは、同試験場(訓練校を含む)の前身である郡立染織学校(明治三十四年)を十日町大火直後の失意と、混迷の時期におこした当時の関係者と県立染織講習所(大正二年)及び県染織講習所(大正二年)等の卒業生の努力によるところが大きいといわれています。その後、県の機構改革で、昭和三十一年、現在の訓練校と十日町試験場に分離されたが、七十年に及ぶ伝統とその技術は現在の施設に受けつがれ、脈々と生きています。同試験場で行った、依

電子式による簡易型自動紋紙穿孔装置の開発に関する研究
本県の紋織物の減少傾向に対処するため、その準備工程に電子技術を活用して、省力化、高速化を図りつつ、産地特有の伝統技術を生かした紋織物生産のためのシステムを開発する。



一九七七年度の流行色に関する研究
五十一年度の色彩感情の傾向に関する調査研究



九月：絹の染色技術講習会。
十月：コンピュータの基礎

一、既存設備(ピアノマシン)を改造し、柄情報テープにより動作する自動紋紙穿孔機の開発。
二、意匠紙または図案から柄情報テープを作成するためのソフトの開発。
■絹擦染における蒸熱工程の改善技術
故障品の原因究明。
■新規製品の試作に関する研究
既有設備による帯地の試作！無地帯地、高級絹帯地の地組織の作成。

| 年度 | 依頼額(千円) | 試験(千円) | 講習(千円) | 講座(千円) | 合計(千円) |
|----|---------|--------|--------|--------|--------|
| 45 | 1,362 | 1,470 | 4 | 1 | 1 |
| 46 | 1,357 | 1,780 | 5 | 1 | 1 |
| 47 | 1,577 | 1,861 | 5 | 1 | 1 |
| 48 | 1,189 | 2,079 | 5 | 1 | 1 |
| 49 | 1,471 | 1,410 | 5 | 5 | 5 |
| 50 | 1,229 | 2,309 | 4 | 6 | 6 |

絹を主体とする県内産地の生産額は、八百五十億円。このうち、十日町織物は約六百億円をしめている。本市の工業生産額をみると織物が九五%をしめ、市の就労人口二万九千人中、織物関係に携わっている人口は、一万二千人に達している。つまり、市民二・九人に一人は織物関係の従事者となります。



田村 邦夫 (絹織物機専務)

施設々備を積極的に利用しよう
当社は、「付加価値の高い製品づくりには、専門的知識技術が必要。あるいは、染織学校当時の伝統を守り発展させる」等の理由で、毎年訓練校修了生を採用しています。私が日頃考えていることは、試験場施設々備の積極的利用です。昭和二十一年当時、私達は、機械研究会(会員六十人)を結成し、夜間に同施設を利用し、織りの研究をやりました。現在の若者も後染め加工部門の研究などで同施設をもっと利用し、産地に役立つて欲しいと考えます。

(6)

訓練校と試験場は
地場産業に
役立つところ

〇〇〇入校生の声

私は能力再開発訓練生

私は、能力再開発訓練生です。織物関係の技術を身につけ、地場産業に就職しようとして訓練校染色科に入学しました。学校を卒



久保田誠一
染色科

業したばかりの若者と浸染、染、機械操作等の実習にとり組

んでいきます。経験と新しい技術で十日町をよりすぐれた絹織物の産地にしたいと希望に燃える毎日です。



村山きよ子
デザイン科

充実感のある毎日です

今、図形という、きものの柄に関する勉強に入っています。初めは、私にもこんなことがで

きるのかと思っていました。でも、先生と生徒の一体となった勉強しようと思っています。

織物の基礎技術を習得

機械いじりが好きなので、訓



関 享
機械調整科

練校に入ってよかったと思います。のこす八カ月間、みっちり織物の基礎技術を習得し、伝統ある十日町織物の発展のため頑張りたいと思います。

主産業の織物は、飛躍的な発展をとげています。反面、騒音や水質汚濁等の苦情も年々増えています。市では、公害防止と織物産業の一層の発展を図るため、既に織物工業団地を造成、現在、降雪前操業をめざして、染色団地の建設が進められています。

染色団地の造成急ピッチ 合理化や公害防止に威力



市開発公社の手で染色団地の造成は急ピッチで進められている。

十日町染色整理協組(林三郎理事長)加入の染色企業十三社は、吉田山谷地区に染色団地をつくり、施設の共同化等により、合理化や技術開発、公害防止などをはかりたいと計画を進めています。

一万四千四百平方メートルに及ぶ広大な染色団地の敷地は、現在、市開発公社の手で造成工事が行われていますが、同協組は、整地が終わり次第、工場を新設し、降雪前には操業にこぎつけたい

と準備を進めています。計画によると、公害防止施設に一億六千万円、その他の事業費に七億二千万円を予定しています。

同団地の中には、各工場が建設されるほか、共同化により、企業の合理化を図るため、共同作業所を建設し、アンダー洗い、蒸し・ドライ工程など共同利用するほか、共同の給水施設や防火施設、熱源供給施設を予定しています。

また、水質汚濁等公害防止のため、一日五百リットル処理可能な排水処理施設を完備することになっています。

市開発公社では同団地に多少余裕があるため、染色燃系、木工等公害関連企業の建設を呼びかけています。

二十工場が操業中

織物工業団地

昭和四十八年、市開発公社で造成した織物工業団地は、一万八千平方メートルに及ぶ広大な土地に、現在二十企業が操業中。

共同施設の汚水処理場や貯水槽などの公害防止施設、公園などの緑地帯も完備し団地全体が活気に満ちています。

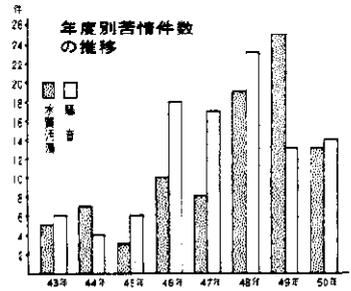


市環境課に寄せられた公害苦情件数は、昭和四十五年から五十年までの八か年間で二百九十二件ののぼり、そのうち、織機や燃系等による騒音と染色精練排水・生活用水等による水質汚濁などの苦情が全体の六五・七を占めています。市では、公害を防止するため、水質検査、汚濁源調査、公共下水道建設計画、排水処理施設等公害防止施設設備の促進、公害防止施設改善資金の貸付、染色、工業団地の造成など織物産業の発展をはかりながら、公害防止のための施策を進めています。

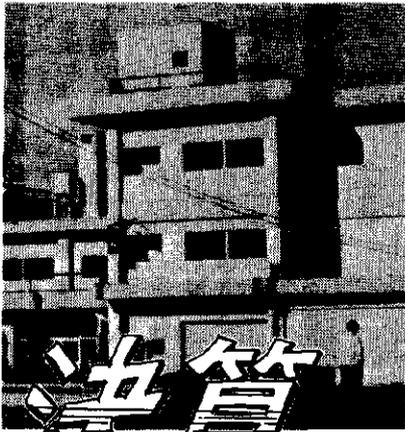
公害苦情の内訳



年度別苦情件数の推移



市内の染色工場では、三十度ちかい暑さのなか、生地染めと取り組み、熱湯相手に色出しに懸命。



決算



十日町市の財政がどのようになっているかを市民に理解していただくため毎年2回に分けて本市の財政事情を公表しています。今回は、昭和50年度決算及び51年度予算執行状況をお知らせします。

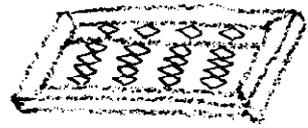
昭和50年度は、厳しい経済情勢の中ではありますが効率的な予算の執行に努めながら積極的に事業を進めてきました。これからも健全財政を維持しながら明るく住みやすいまちづくりを積極的に進めて行きます。

5万

市民の

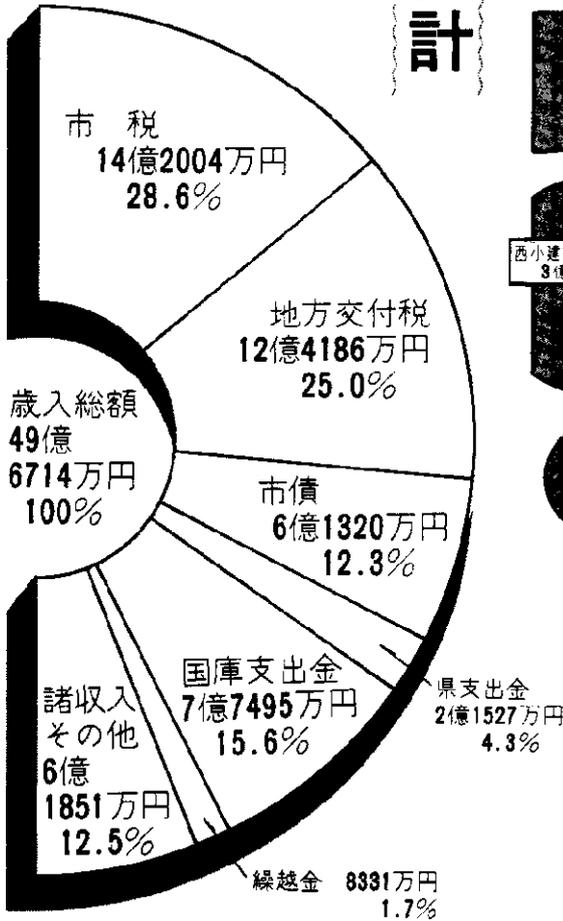


家計簿



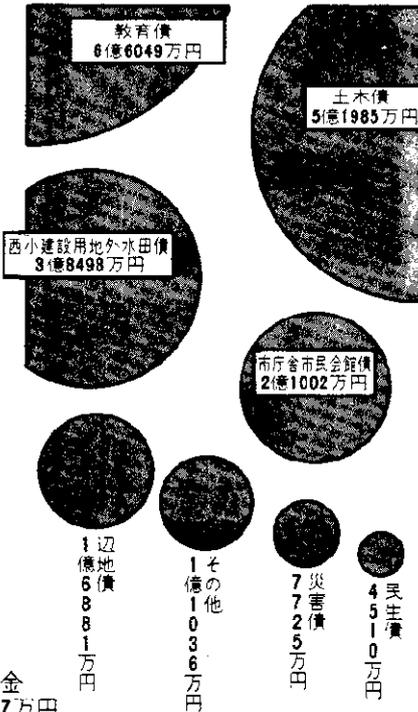
歳入

一般会計



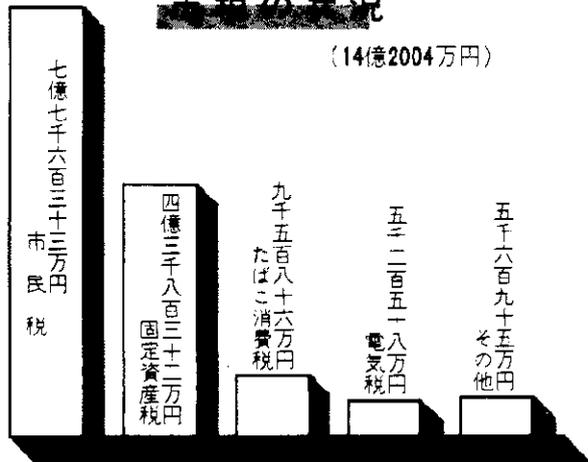
市債の状況

(21億7686万円)



市税の状況

(14億2004万円)



おもな歳出(人口は51.3.31現在で計算)



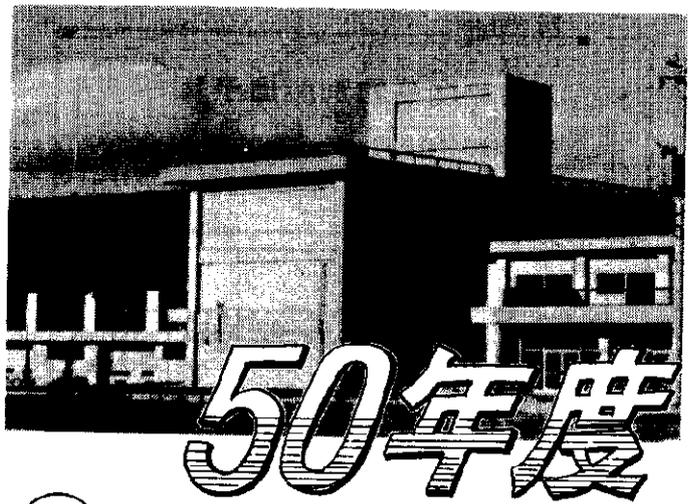
おもな使いみち

| | |
|------------------|------------|
| 総務費 | |
| 交通安全施設整備事業 | 733万2千円 |
| 民生費 | |
| 老人ホーム妻有荘増改築工事負担金 | 73万7千円 |
| 児童遊園地整備事業補助金 | 112万円 |
| 敬老祝金 | 981万円 |
| 老人医療費及び老人医療助成事業 | 1億990万4千円 |
| 衛生費 | |
| 妊産婦乳児医療費助成事業 | 1000万3千円 |
| 雪上車購入 | 420万円 |
| 農林水産業費 | |
| 生鮮食品卸売市場施設事業補助金 | 600万円 |
| 農林水産開発事業補助金 | 295万2千円 |
| 土地改良事業補助金 | 1786万8千円 |
| 土地基盤整備事業補助金 | 999万4千円 |
| 国土調査測量委託料 | 720万円 |
| 林道開設事業費 | 3091万円 |
| 商工費 | |
| アーケード施設補助金 | 916万6千円 |
| 魚沼スカイライン建設負担金 | 660万円 |
| 土木費 | |
| 市道新設改良舗装工事 | 2億2065万3千円 |
| 消雪パイプ布設工事 | 3665万7千円 |
| 街路舗装新設工事 | 2528万5千円 |
| 用地買収費 | 1158万7千円 |
| 公園造成工事 | 3197万1千円 |
| 河川改修工事 | 614万8千円 |
| 公共下水道終末処理場用地買収費 | 7864万1千円 |
| 教育費 | |
| 西小建築及び設備工事 | 4億3736万4千円 |
| 大池小建築及び設備工事 | 6095万2千円 |
| 埋蔵文化財収蔵庫建築工事 | 3586万4千円 |
| 中条地区館建築工事 | 7422万4千円 |
| 川治地区館建設用地買収費 | 2175万5千円 |

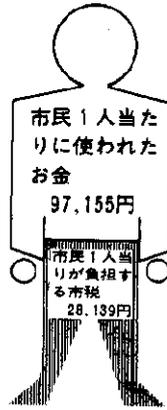
おもな使いみち

おもな使いみち

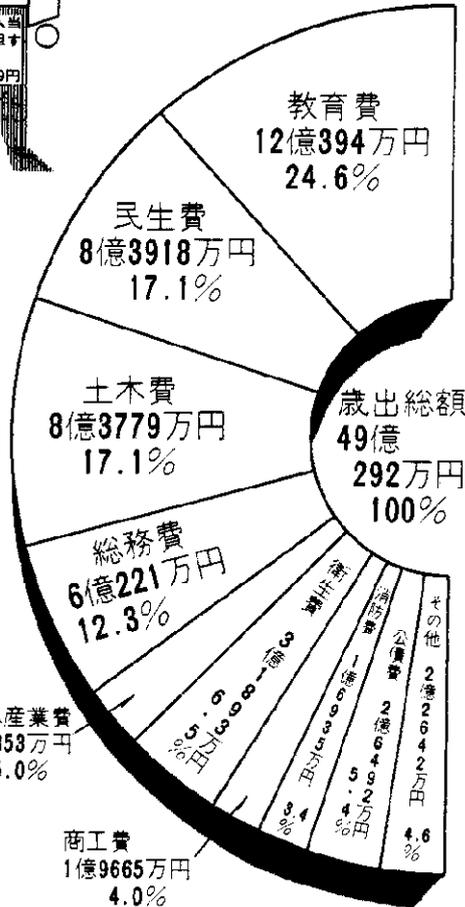
おもな使いみち



50年度



歳出

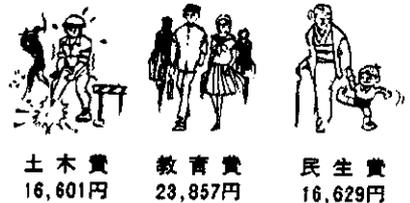


翌年度繰越額 6422万円 (うち繰越事業 3529万円)

特別会計

| 会計名 | 歳入 | 歳出 | 差引 |
|--------|-----------|-----------|--------|
| 国民健康保険 | 9億7679万円 | 9億323万円 | 7356万円 |
| 直営診療所 | 3013万円 | 3013万円 | 0 |
| 簡易水道 | 7億881万円 | 7億880万円 | 1万円 |
| 計 | 17億1573万円 | 16億4216万円 | 7357万円 |

市民1人あたりの



51年度目的別歳出予算

☆予算額 46億1767万円 ◇割合 100%
◎市民1人当たり 92,000円(51.6.1現在の人口で計算)

| | | | |
|---|--|---|---|
|  | 総務費 ☆5億 2940万円 ◇11.5% ◎11,000円 |  | 土木費 ☆7億 8540万円 ◇17.0% ◎16,000円 |
|  | 民生費 ☆9億 7552万円 ◇21.1% ◎19,000円 |  | 消防費 ☆1億 7402万円 ◇3.8% ◎3,000円 |
|  | 衛生費 ☆3億 6469万円 ◇7.9% ◎7,000円 |  | 教育費 ☆7億 7607万円 ◇16.8% ◎15,000円 |
|  | 農林水産業費 ☆2億 8363万円 ◇6.1% ◎6,000円 |  | 公債費 ☆3億 3630万円 ◇7.3% ◎7,000円 |
|  | 商工費 ☆1億 9549万円 ◇4.2% ◎4,000円 |  | その他 ☆1億 9715万円 ◇4.3% ◎4,000円 |

一般会計

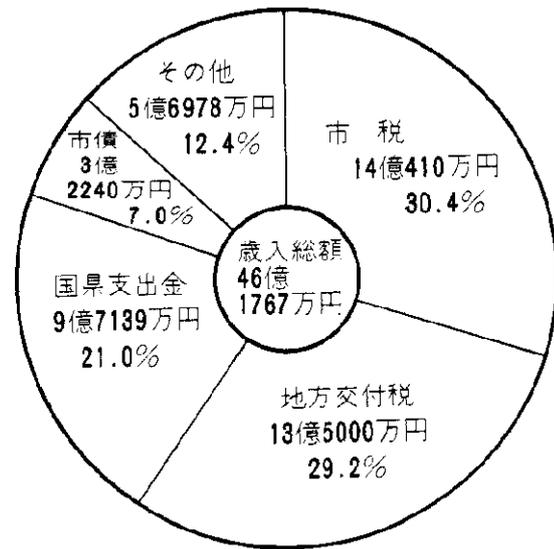
当初予算 46億6711万円

6月末予算 46億1767万円

収入済額 12億8014万円 (収入率 27.7%
執行率 21.0%)

支出済額 9億6826万円

歳入予算



特別会計

| 会計名 | 予算 | 歳入 | 歳出 | 差引 |
|--------|-----------|------------------------|---------|----------|
| 国民健康保険 | 11億1855万円 | 2億6298万円 | 1億565万円 | 1億5733万円 |
| 簡易水道 | 7644万円 | 371万円 | 270万円 | 101万円 |
| 直営診療所 | 3304万円 | 147万円 | 676万円 | △529万円 |
| 下水道事業 | 1億5210万円 | (6月議会において新規に特別会計予算を議決) | | |

財政用語

五十年年度決算

昭和五十年四月一日から五十二年三月三十一日までの歳入歳出予算の執行の結果、実績を表示した計算表のこと。

市債

市債とは、財政の不足を補いもしくは特定の用途にあてる目的で、市の信用において大蔵省郵政省、市中銀行等から資金を借り入れることによって生ずる債務をいう。

一般会計

市町村等の基本的な行政経費を中心とする会計である。これに対して、特定の事業を行う場合にその収入、支出を独立させる必要がある場合は、条例によって特別会計として経理することができ。

地方交付税

国税である所得税、法人税、酒税のうち三十二分の額を、地方財源の保障の意味で市町村等に配分するものを言い、行政上必要なものには用途に制限なく使用できる財源である。この地方交付税には、普通交付税と特別交付税があり、額の計算は、地方交付税法や省令で細部にわたって定められている。

十日町地域広域事務組合

一部事務組合

の

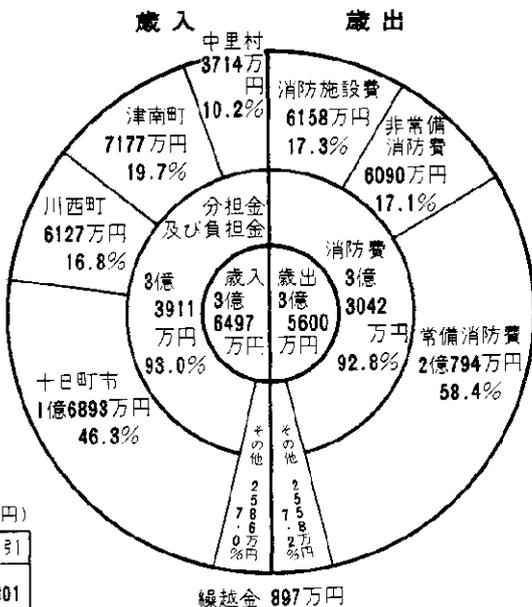
家計簿

組合債の状況

(総額2億1260万円)

| | |
|-------------------------|-----------------------|
| 消防庁舎 1億30万円 47% | 大蔵省 7980万円 38% |
| 消防関係その他 3250万円 8% | 郵政省 7630万円 37% |
| 福祉センター 4300万円 20% | 共済組合 5450万円 25% |
| と畜場 3680万円 18% | |

50年度決算



一般会計

前頁に引き続き、消防
ごみ、し尿処理などの事
業を実施している十日町
地域広域事務組合と十日
町市、川西町衛生施設組
合の財政事情をお知らせ
します。

特別会計

(単位万円)

| 会計名 | 歳入 | 歳出 | 差引 |
|----------|------|------|-----|
| 総合福祉センター | 1280 | 979 | 301 |
| と畜場事業 | 1363 | 1076 | 287 |
| 計 | 2643 | 2055 | 588 |

衛生施設組合

歳出総額2億5581万8千円 100%

歳入総額2億6168万4千円 100%

一般管理費 33.7%
8617万4千円

塵芥処理費 19.9%
5101万8千円

し尿処理費 35.3%
9019万円

公債費 9.6%
2460万2千円

その他 1.5%
383万4千円

繰越金 586万6千円

分担金及び負担金 71.6%
1億8745万7千円

一日町市1億6279万2千円

川西町 2219万9千円

松代町 246万6千円

国庫補助金5.2% 1370万円

組合債 19.2%
5020万円

その他 4.0% 1032万7千円

51年6月末の予算及び執行の状況

一般会計

| | |
|-------|----------------|
| 当初予算 | 3億4962万円 |
| 6月末予算 | 3億4962万円 |
| 収入済額 | 9068万円(収入率26%) |
| 支出済額 | 7986万円(執行率23%) |

特別会計

(単位万円)

| 会計名 | 当初予算 | 収入 | 支出 |
|----------|------|-----|-----|
| 総合福祉センター | 1157 | 475 | 139 |
| と畜場事業 | 5500 | 193 | 169 |

51年度6月末

| | |
|------|---------------------|
| 予算額 | 3億7904万2千円 |
| 収入済額 | 1億640万7千円(収入率28.6%) |
| 支出済額 | 9451万5千円(収入率24.9%) |

組合債の状況

| 事業名 | 金額 |
|-------|------------|
| ごみ焼却場 | 2億31万5千円 |
| し尿処理場 | 6307万円 |
| 清掃車 | 302万1千円 |
| 計 | 2億6640万6千円 |

なわ飛び

一 園上スケート

エリマキ

一 ガッチ

一 籠合戦

一 スキー

水鉄砲

一 タコあげ

一 石けり

センドクオケ

かくれんぼ

一 タル取り

一 おはじき

一 トンビ

一 ビー玉

川ぼし

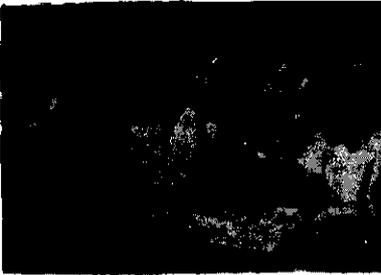
親はまた

テレビッ子といわれ
に創意工夫や、三
品利用の遊びに
て自主性や、創造
遊びは子どもの成
今月は、竹馬、な
た遊びの一部をこ
で楽しんでみてく
ふれあい是一段と

ゆっくり走ろう越後路を

夏の交通作戦

八月は、暑い日が多く、また、お盆やお祭りなどで気もゆるみがち……。私たちは、人の命の尊さを考え、市民ぐるみで悲惨な交通事故を絶滅させようではありませんか。



休み時間を利用して、交通安全の絵をかき、東小の児童たち。



純真な東小児童の作品はドライバーに手渡された写真は中沢哲也君(東小四年)の作品

交通安全の願いを込めて……

市交通安全対策会議(会長春日市長)は8月中、各地域に交通指導所を設置し、中、高校生のつくった折づるや、東小の児童達がつくった絵をドライバーに手渡し、安全運転を呼びかけました。

こどもを事故から守ろう



夏の期間は、例年、暑さによる気のゆるみや夏休みによる解放感から、子どもの交通事故が多くなりがちです。交通事故は人災ですから、わたしたち、ひとりひとりの注意で防ぐことができます。市交通安全対策

会議は、一年中で最も事故の多発する八月に向けて、街頭指導、夜間パトロール、交通安全指導所の設置、夏休み中の子ども母親ぐるみの交通安全教室、屋外映写会の開催、交通安全施設の点検と増設等を進めます。

安全運転の心得

■暑いときは、過労運転を避け、上水道ミニニュース

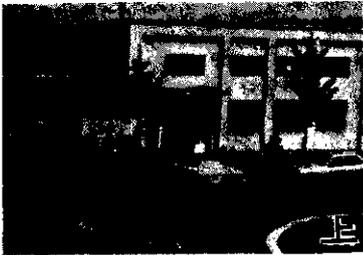
事故への願い
横断歩道でない所での横断やとび出しなど、特に老人や子どもに多いですね。運転者も注意していますが、交通事故を防ぐためには、家庭での話し合いと監護がより大切だと思います。(新座・運転者)

■スピードの出しすぎ、むりな追い越しをしない。
■死亡事故のトップ、酒酔い運転をやめよう。

水道三拡工事はしまる

上水道の第三期拡張工事は、六か年計画ですすめています。その一年目の工事が七月中旬からはじまりました。今年、水源井戸の掘削、送水施設の増設、受電・計装設備増設改良と、送水管埋設工事がおもなものとなっています。

送水管の増設は、第一水源地



拠点となる第一水源地

非常勤交通指導員のひとこと

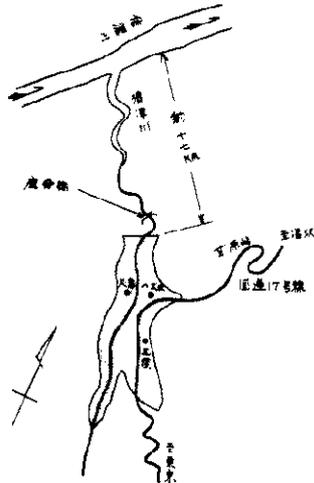
このほど、長谷川指導員と水沢方面へ交通指導に出かけた時のこと。宮内地区で横断歩道を渡ろうとする学生が目に入りました。停止線のところには自動車がいまどっており、学生は、手をあげて横断歩道を渡り終るとすぐ、自動車の運転手の方に「ありがとう」といさつし、一方の運転手さんも会釈しました。こんな光景をみて、非常にすがすがしい感じを受けました。歩行者も運転手も、みんながこんな気持ちであらうものですね。



村山利雄 (伊達)

転をやめよう。
■ヘルメット(二輪)及びシートベルトの着用を。
(十日町橋もと)から下水道終末処理場、西田川橋、四日町新田、四日町を経て、東小学校前の通りから五軒新田にある第三配水池へ結ぶもので、直径四百センチの鉄管を約四・八キロにわたって埋めています。
工事中は、通行などにご不便をおかけいたしますが、しばらくの間、ご協力をおねがいいたします。

清津川多目的ダム略図



奥只見ダム
計画中の清津川多目的ダムは、
奥只見ダムと堤高がほぼ同じ規模。



不

足する水資源

清津川多目的ダムに依存

猛暑で水道の使用量はウナギのぼりに上昇し、一日最高使用量が百一萬五千リットルをこえました。この機会に水資源についてみんな考えてみましょう。

これは、ドラム缶で七万五千本消費したことになる。市内全域の一日当たり水消費量は、およそ三十五万リットル見当ですから、実に市民プールの二百七十杯分を消費していることになりました。

六十一年の水需要量は

二倍以上増加します

市では四十七年行い四十八年に第二次水需給量の確保対策」に
この報告で都市用水、工業用水、農業用水、流消雪用水の総需要量は六十一年には二・二倍増加し、年間総量が二億七千万リットルに達すると想定しました。



荒地から広大な
農地に生れかわ
った苗場山ろく
開発第一地区
(津南町)

全体実施計画に着手

苗場山ろく開発第3地区は、3月開発基本計画調査を終了しました。未こん地の山林原野について、62822の内諾がまとまりました。また、農用地開発は、53022を超え、国営事業の採択基準に達し、農林大臣の計画承認がだされることに内定いたしました。

昭和42年から継続している基本計画の第一段階は、国・県の公共投資による開発で十分効果をあげられるという結論になりました。

全計地区を採択 全計班事務所開設される

第3地区農用地開発、土地改良（全体面積1,40022）の詳細な設計、積算、効果測定を行う全体実施設計地区採択も決定し、去る8月2日から、水沢出張所に「北陸農政局苗場第3地区全計班事務所」が開設されました。当面、建設部設計課の専門官ほか4名が担当となり、2カ年の予定で実施設計に取り組みます。今年度の国費調査費は3,000万円であり、第3地区の開発調査は第二段階に入りました。

これだけの「水資源」を確保しておかないと、市民の豊かな生活、産業の順調な発展が図れないという見通しです。

不足水量九千六百万

は清津川ダム依存

必要水量のうち市内の河川依存で十六%、地下水依存で二十%は確保できますが、残る九千六百万リットルは清津川ダムに依存する見込みです。



飯塚洲司
(市之派)

水資源の確保を

明治の先達が一俣から清津の水を引き大開墾を夢想して断念。以来いく度か専水開発計画はご折した。八十年たつて訪れた好機。何としても水資源を確保してもらいたい。

六百万リットルは市内には水源がありません。将来十日町市の水資源は心配ないといえるように調達するには、建設省が調査を進めている清津川多目的ダムに依存して確保を図る。このため重点施策として清津川ダム建設促進運動を進めています。

清津川ダムは県内最

後で最大の水ガメ

清津川ダムは北陸地方建設局が多目的ダムとして直轄調査を継続して実施しています。ダム予定地は清津川鹿飛橋上流点で、構想規模は高さ百五十リットル、流域面積百九十二平方リットル、総貯水量一億六千万リットルという県内で最大の水ガメといわれる多目的ダムです。

懸案の環境庁、文化庁、林野庁のダム調査許可が昨年末あり、現地では横抗やボーリング地質調査工事が本格的に進められています。

ダム水没地域 生活再建計画基本調査 に着手

一方清津川ダムは湯沢町の三俣・八木沢・大島三部落の九十戸と学校その他施設水没という大問題をかかえています。

このため県はこの四月企画調整部に水資源班を新設、水没に伴う生活再建計画基本調査に着手しました。

このように国・県の調査足並みもそろい清津川ダム建設の第一段階である予備調査はいよいよ大詰を迎えました。

第3次プロジェクトチームで水需要を再検討

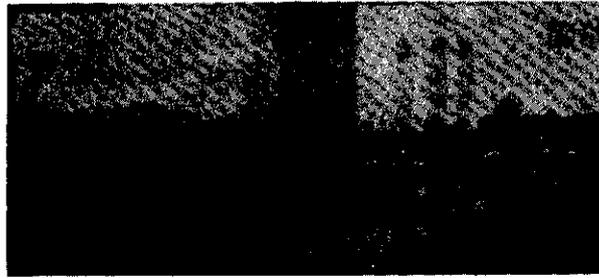
本市将来の水資源確保について、さらに総合的な検討をするため、四月以来、総合水利対策プロジェクトチームが設置され、①現時点における水需要の見直し、②清津川多目的ダムからの導水方法及び地区内ダムの建設などについて、調査研究を進めています。



太田忠勝
(馬場第二)

苗場山ろくの早期着工を
私達後継者は困難な情勢にめげず、専業農業者として農業の城を守っている。しかし何といっても基盤の整った農地が一定規模ないと農業は成立しない。一日も早く着工してほしい。

スポーツで 夏をのりきる



野球場一面完成、信濃川スポーツ・レクリエーション広場



連日若い人達でにぎわう市民プール

体力づくりを

連日の暑さで心身ともにヘタヘタ。外に出るのもおっくう。日頃の生活を考えなくても、交通機関の発達などで、とかく運動不足がちになっています。私たちの健康は「栄養」と「休養」そして「運動」の三つの調和から生まれるといわれています。この機会にあなたも自分にあつた運動をみつけ、この夏をのりきるとともに、健康な毎日を通しましょう。

健康は幸福の第一条件

健康なからだ、たくましいからだをつくることは、万人の共通のねがいです。人間にとって、健康は幸福の第一条件だからです。健康なからだがあつてこそ、はじめて現代文明のもたらすかずかずの恩恵も十分享受することができま

理想的な健康状態というのは、心身ともに疾病がなく自然環境や社会環境の変化に対して適応力をもち、積極的に充実した日常生活を営んでいく意欲に燃えた状態だといえるでしょう。このような理想的な健康状態は、一朝一夕に生まれるものではありません。健康はあくまで、毎日の栄養と休養、そして積極的な身体活動によって保たれ、高められるものです。

日本人の最近の死因をみると、第一位の脳卒中、第三位の心臓疾患は、動脈硬化に関連したもので、その原因は、栄養のとりすぎによる血液中の脂肪の増加と、運動不足だといわれています。このように、スポーツが私たちの健康にとっていかに大切か

がわかります。

自分にあつたスポーツを

スポーツというとは、何か激しい動きをとまなう運動競技だけを想像し、また、とかく若い人あるいは特定の人たちだけのもののように思われがちです。しかし、スポーツの種目にも、その人に適したものがあります。施設、用具、服装、時間などを考慮にいれて自分に適したものを選び、日常生活の中に取り入れてみましょう。

特に、レクリエーションとしてのスポーツは、次の仕事や労働に対しての気分転換、疲労回復として必要なものです。自分の好きな興味のもてるスポーツで健康な毎日をおくりましょう。



上村カズエ (貝ノ川)

わが家の体力づくり

体の弱い子供達をなんとか丈夫に。そんな気持ちから、三年程前、家族みんなマナトビ、乾布まきつなどの体力づくりをはじめました。

私たちは実行しています

その後、子供達から「昨日は何回、今日は何回できた」とうれしそうに話され、運動をはじめてよかったなと思ひ、今年も早朝マラソンをはじめました。

私も二年前より地区のママさんバドミントンに参加し、暇を見つけては家族で楽しんでます。おかげで、子供達は丈夫になり、私自身も肩こりが治り、毎日を楽しんで過ごしています。みなさんも家族ぐるみで体力づくりをしてみてください。



高橋秀雄 (学校町2)

町内早朝マラソン

幼稚園児から相当の年配者まで、早朝の晒川のほとりを運動靴の音も軽く、町内一周一キロを体力に応じて一〜二周のマラソン。

子供たちにはガンパリの利く健康な身心を、私たち大人は健康維持、特に足の衰えを防ぐため、そして町内親睦。

自分の健康は自分で



宮入健一 (妻有町東1)

市民の健康と体力の増進、明るい地域、仲間づくり、スポーツ愛好者の底辺の拡大。こんな目標で私たち市体育指導委員は活動しています。

とくに、日頃各種スポーツ行事に参加する機会に恵まれない婦人を対象とした「婦人体育教室」や、朝のすがすがしい空気を胸いっぱい吸つての「おはようサイクリング」、その他の各種スポーツ行事等の指導が担当分野です。

最近市内でも健康、体力づくりの自衛手段としてスポーツに親しむ人が増加してきています。自己の健康管理は他人を頼ってはできません。自分の体力に合った方法で体を動かし、体力づくりの時間を生活の中に組み入れ、健康の増進に努めましょう。

■水難事故防止を——水遊びや魚釣りなどで、子どもを川や池などの危険な場所に近寄らせないように注意してください。

【あと押し】

子どもが後にまわって、あと押しをします。親は軽く抵抗して、子どもの力に応じて、ゆっくり歩いてやりましょう。ひと休みのところであと押しをやめ、親が足を前に出して坐ります。



【ふねこぎ】

子どもが前にまわってきて、足の上ののり、手をにぎり合せて、ふねこぎをします。



【山登り】

手をにぎり合せて、子どもが親のひざや、腹の上に足をふんばって上にのぼります。親はのぼりやすいように、膝をまげてかまえたり、腕で上に引き上げてやりましょう。肩の上に立ったら頂上ですが、膝の上に立って平均をとって終わりにしてもよいのです。



楽しい親子体操



市役所前から出発するお早ようサイクリング



6月20日に行われた市民ハイキング

日頃から



吉木 健治郎 (南 鑑 坂)

野球と仕事

私は、スポーツと名のつくものは何でも好きです。現在は仕事の関係から野球一本にしぼった形で楽しんでいます。

四年前、会社の仲間と野球チームを作り、市内の大会に出場しましたが、残念ながら完敗の成績でした。しかし、今では大部良い成績をあげられるようになり、仕事とスポーツの両面で汗を流すことで、仲間同志の団結と和が生まれたことによると思



市の体力づくり運動

これからも信濃川の運動公園などで思いっきり汗を流すと

にも、仕事でもがんばって行きたいと思えます。

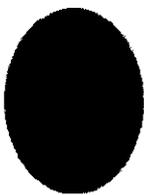


上村 イサ子 (土市第1)

婦人体育教室に参加して

常日頃、体操がしたい、体を思いきり動かして汗を流してみたい、などと考えていましたら、四年前、水沢地区で婦人体育教室が開設されました。

そこで、一人でもいいからと申し込み、以来四年目を迎えました。おかげで、健康なからだ、楽しい仲間にも恵まれました。日頃運動不足の婦人の方、ぜひ婦人体育教室で一緒に汗を流してみませんか。



小川 晴輔 (学校町1)

お早ようサイクリング

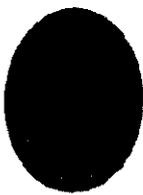
六月二日からはじまったお早ようサイクリングに、小学校三



滝沢 マツノ (駅 通 り)

楽しかった市民ハイキング

六月二十日快晴、絶好のハイキング日和。自分のためのお弁当作りなんて何年ぶりだろう。娘のトレーニンングウェアを身につけ、白いソックスをはき、



渡 辺 嘉平 (山本第1)

スポーツで健全な人間関係を

近頃は、交通機関の発達などから運動不足の人が増え、いつの間にか私たちの体力は減退しています。

市の体育指導委員として二年目を迎えました。自分自身の体力の衰えを見るにつけ、社会体育の重要性を再認識させられました。

スポーツを通しての体力づくり、体と体をぶつけ合う中で生まれる人間同志の深い信頼関係。日常生活を楽しく過すためには、健康な体、健全な人間関係が必要です。

これからも、体育指導委員として交流を深めつつ、社会体育の発展、地域の発展に努力して行きたいと思えます。

保健婦活動の一日



7月14日、市の保健婦は順入部落をたずねました。

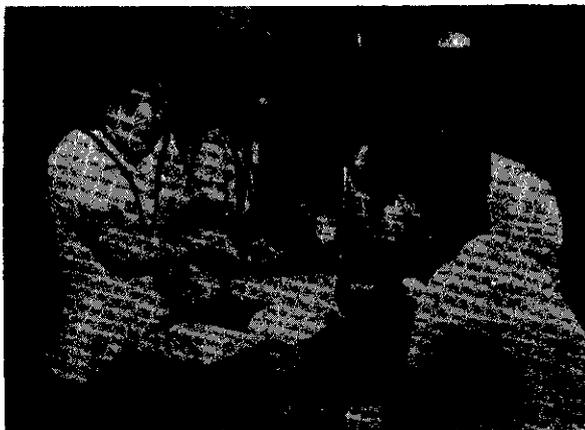
山間部落にとって、医療問題は心配事のひとつですが、保健婦はこうした住民の不安を少しでも解消できれば、定期的に山間部落を巡回して健康相談、血圧測定など病氣予防に努力しています。



みなさんお変わりありませんか……「保健婦さん、ほんにご苦労さまだのう」



その後おじいちゃんの具合はどうか
……家庭訪問は病氣予防の大切な仕事



血圧はどうか、無理をしないで、食事は塩分を控えめにね
……血圧測定など健康診断も

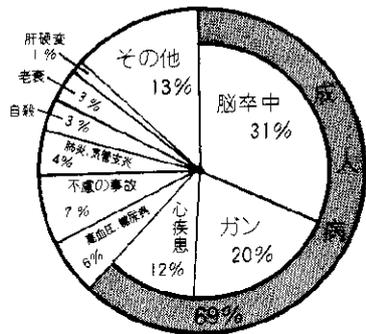


健康にはバランスのとれた食事が大切ですね……成人病予防に食生活の改善を

■伝染病予防は、まず手洗いの励行から——食品はなるべく加熱し、調理場は清潔に。

恐ろしい成人病

昭和49年の本市の総死亡数は428人、このうち脳卒中、ガン、心臓病などいわゆる成人病による死亡は、約300人にもなっています。成人病は社会的にも家庭的にも大事な40歳以上の人に多く発生しています。



日常生活での注意

- ①十分な睡眠と休養をとり過労をさける
- ②トイレを工夫し、便通を整える
- ③入浴はぬるめの湯で、のんびりと
- ④塩分、動物性脂肪をとりすぎない
- ⑤適度な運動を続けて、肥りすぎない
- ⑥心配や興奮など精神的緊張をさける
- ⑦急激な温度の変化をさけ、保温に気をつける
- ⑧果物、野菜、海草類、植物油を多くとる

妊婦さんの栄養

十日町の妊婦さんは、10人中6人もの人が貧血のため治療をうけています。妊娠月数がすすむにつれ、赤ちゃんの方にどんどん栄養が吸収され、妊婦さんの大部分が貧血してしまうのです。

妊娠中のお母さんの願いは、まず丈夫な赤ちゃんが生まれるように、そして安産であり、産後もいつまでも若く美しくありたいということにつきるでしょう。そのためにも、ふだん以上に食事に気を配ってほしいものです。

赤ちゃんの健康

赤ちゃんは、どんな病気が多いかというと、1位 かせ、2位 肺炎、3位 皮膚疾患、4位 水痘麻疹、5位 気管支炎となっています。

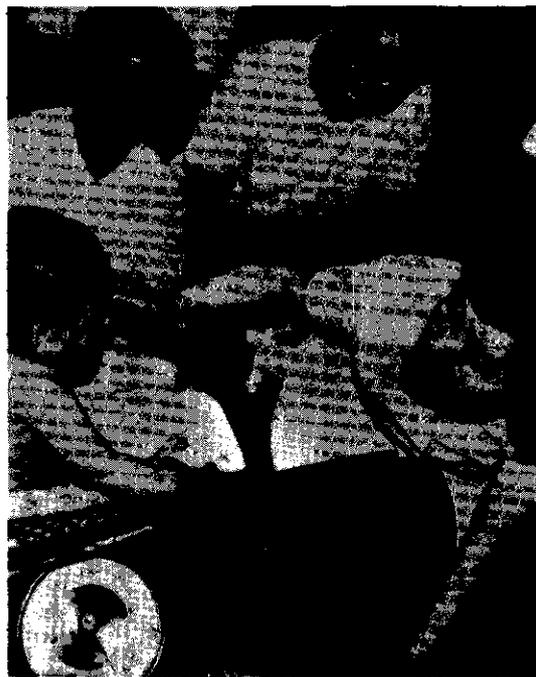
赤ちゃんは生まれて半年位から、かせをひきやすくなります。これはお母さんからもらった免疫がされるのと、外出などで感染の機会が多くなるためです。また暑い時期には、皮膚炎や夏季熱も多くみられます。

このような赤ちゃんの病気の予防としては、つぎのようなことにご注意ください。

- ①肌着は汗を吸いやすく通気性のよいものを。
- ②暑い日は行水をさせたり、シーツの下にゴザをしいて通気性をよくする。
- ③湯ざまし、果汁など水分の補給を。
- ④ときには扇風機で静かに風を送る。ルームクーラーは25度以下にならないように。
- ⑤汚れたおしめは手まめにとりかえ、おしりを日光にあてるのもよい。
- ⑥夏の日光浴は、日ごしの強い時間をさけ、または木かげを選んで。



病人のシーツを取りかえる時はどういうふうにな、特に苦痛を与えないようにね
……思いやりのある家庭看護を



この前よりだいが目方が増えたわね
……二歳児検診

撮影 広報協力員・庭野泰明



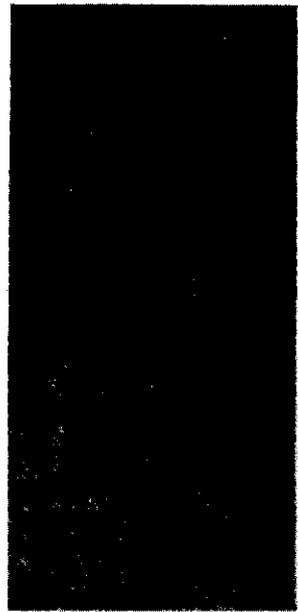
さあ思いっきり手を伸ばして……健康体操の指導も

のふれあい

ボランティア活動



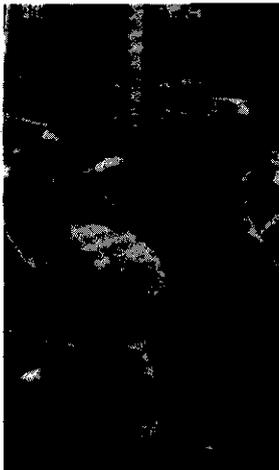
子供が、小まめに、きれいに、水をやる。花を、根を、引き取り、きれいに、水をやる。花を、根を、引き取り、きれいに、水をやる。



奉仕活動を続ける 郷愛グループ

毎月第一・第三日曜日の朝、十日町駅ホームの清掃や待合室のガラスふきを黙々とやっています。この若者達は郷愛グループ（根津健治会長）とあって、その名の通り、「少しでも郷土を愛そうじゃないか」ということで昭和四十年に結成。織物関係の職場に働く二十歳前後の若者を中心にすでに十年余りもボランティア活動を続けています。駅の清掃は、市の表玄関をきれいに、初めてまちを訪れる人に良い印象を、こんな純粋な気持ちがひとつにふくらんで奉仕を続けているのです。同グループは、さらに道路のカップミラーみやみや神社の花壇づくりなど地域の奉仕活動を続けています。会員の砂畑真砂江、蕪木孝平、山本栄美、羽鳥明、善財孝さんは一今では、すっかり習慣となり、毎月第一・第三日曜日が楽

10年前から、自分達が遊び場になっている神社や、遊園地の清掃を続けている上新田こども会。



持参した洗剤スプレーを用いて十日町駅待合室のガラスふきをやる郷愛グループ。このところ、日中のうだるような暑さにくらべ、早朝は、心が洗われるほどすがすがしい。「自分達の遊び場は自分達の手できれいにしよう」と上新田のこども会（山内勝利君ほか二十四人の下条小学校児童たち）は、毎日曜日の午前六時半になると自分達の遊び場の神社や遊園地の清掃を行っています。こども達が自発的に行き始めた遊び場の清掃は地域の人達からも喜ばれすでに十年余りも続けられています。

しみです」と少しも誇らず静かな口調で話してくれました。



岡村 隆 十日町駅 首席助役

感心な人達だ

十日町の表玄関である駅の清掃「三番ホームの花壇づくり、待合室のガラスみがき等」を長年やっていただいているが感心な人達だ。このグループは、各自用具を持ち

より、日曜日に実施しているが、私たちの職場もいよいよ面が感化を受けている。近く局長表彰を申請する予定。また、中条駅の清掃は中条老人クラブが、水沢駅は水沢老人会が無料奉仕していることも聞いている。こういった人達には感謝しますが、やはり、市民一人ひとりが公共施設を汚さず、大切に使うていただくことが必要ですね。

遊び場の清掃を続けている上新田こども会

このところ、日中のうだるような暑さにくらべ、早朝は、心が洗われるほどすがすがしい。「自分達の遊び場は自分達の手できれいにしよう」と上新田のこども会（山内勝利君ほか二十四人の下条小学校児童たち）は、毎日曜日の午前六時半になると自分達の遊び場の神社や遊園地の清掃を行っています。こども達が自発的に行き始めた遊び場の清掃は地域の人達からも喜ばれすでに十年余りも続けられています。



山内 忠雄 新田

奉仕の輪を広げよう

上新田こども会は、遊び場の作業を通して、きょう一日の計画を話し合い、友情と連帯の輪を広げている。願わくば、こんな奉仕の輪が市内のこども達にも広まって欲しいものだ。

愛宕山の桜を育てて二十五年

市街地の東側丘陵地にある愛宕山は、春の桜祭りや四季を通してのいいこの場として市民の間に親しまれてきました。この愛宕山に桜の木を植え、りっぱな桜並木に育てあげた人は、関口太郎右衛門さん（川原町）です。関口さんは、現在も早朝の五時頃には愛宕山に行き草なぎや降雪時の雪囲いなど無料奉仕を行っています。また桜祭りの準備や後かたづけには東部自衛団の方々も無料奉仕してくれています。

フラワーボックスに水をやる小林さん

諏訪神社参道に市の花「山つつじ」百七十本を無償で植えた

新保広大寺踊りを練習

下条小学校（齊藤正夫校長・児童364人）は、郷土芸能を守り育てようとして、保存会の人達の指導で、新保広大寺踊りに励んでいます。消えゆくふるさとの踊りを守る。こんな願いが父兄、先生、こどもとふれあいをとおして、大ききふくらみ、地域に踊りの輪を広げています。保存会の人達も、こども達のなから後継者が育ってくれることに期待をかけています。



小林清三郎 本町二丁目

宮本公園の清掃を続ける宮入さん

早朝の五時頃、宮本公園をきれいにすると、諏訪神社の清掃にとりかかる宮入国治さん（宮下東）は、雨の日も風の日も清掃を欠かさない。この奉仕が日課であり、清掃の終わった後、宮入さんの一日がはじまります。この宮入さんの無料奉仕は五年前から続けられており、地域の人達から感謝されています。



宮入 国治 宮下東

持気かいたたあ



クラブ会の散髪奉仕のおかげで、さっぱりした顔で、お盆を迎えられると喜ぶ老人たち——。



老人クラブも草取り奉仕

老人クラブ「山本千歳会」(桑原庄吉会長)は、このほど、千歳公園の草取り奉仕作業を行いました。千歳会の会員たちは、社会に少しでも役立つことをしたいということから、公園の草取りが計画されたもの。作業は手ぎわよく行われました。写真は、作業途中のひとつと休みをスナップ。



ライオンズがカーブミラーの清掃
ライオンズクラブは、このほど、市内に設置されているカーブミラーの清掃を、ひとつひとつ交通安全の願いをこめて行いました。

散髪奉仕で五年の付き合い

理容師二十五人のグループ「クラブス会」が老人ホーム妻有荘との付き合いを始めてもう五年近くになります。それまでは理容師組合青年部の方々がおよそ十五年位続けてきました。

訪ねて老人達の散髪をしてもらいます。散髪の終わった老人はさっぱりときれいになって気持ちよさそうです。老人達に「もうすぐトコ屋さんがきてくれますよ、というとみんなニッコリするんですね。」と寮母の滝沢さんは話

してくれました。「また散髪をお願いしますよといわれるとついうれしくなってしまうんです」と高橋早苗さんは、これからもずっと続けていきたいとはりきっています。

これからは時々訪れます

これから、老人ホーム妻有荘との付き合いを始めようとして

毎年、八月二十六日の秋祭りには、上町若衆の人達が祭りの笛、太鼓と演奏でお祭り気分を盛りあげてくれます。そのほか「市内の個人、団体、グループなどたくさんの方が自主的に考えたことを持ちよって、訪れてくれます」と井口院長は、市民のみなさんの善意に感謝していました。



板場ヒデ 土市第二

老人ホーム妻有荘の寮母になって二十一年目を迎えます。老人の世話をしながら感じることは、老人達は、お金や食べ物には不自由してないが、孤独感を強くもっています。例えば、精神的なことですが、市民の方が「老人の話」相手として気軽に施設に寄って欲しいですね。

いるグループがあります。ナツメロ愛好会(根津高明会長)は、そのひとつです。去る七月十八日(日曜日)、二十一人の会員は、初めて「妻有荘」を訪れ、老人達と一緒に声の続く限り歌い、入居者からやんやのかっこいを浴びました。志賀益蔵さんの「また楽しい歌を聞かせてください」とのことばに、これからはまたみなさんのところにお邪魔しますと約束しました。

善意をお預りします

ナツメロ愛好会が妻有荘を訪

地域に役立つ一員になりたい

井口 吉清

養護老人ホーム妻有荘院長 老人福祉施設の社会化が進んだせいか、妻有荘も開放的で明るくなつた。地域の人達と交流を深めるため、近郷農家の畑の草取り、織物関連産業の内職などの軽作業をやっているが、今後とも老人に遠した作業等を作り、地域に役立ちたい。

れるきっかけをつくつたのは、社会福祉協議会にある「善意銀行」でした。この銀行は、昭和五十一年四月開設されたもので、みなさんの善意をお預りし、必要に応じて払い出していくしくみになっています。口座は、金品、労力、技術の三種類です。いつてみれば、みなさんと、ふれあいを求めている人とのつながりをつくるパイプ役といえます。善意銀行には、つぎの個人の方が労力奉仕の提供を申し出ておられます。

樋口トモイ(春日町三) 滝沢実千代(本町二) 春日彦太郎(寿町四) 村山知子(池ノ平) 小林正(稲荷町四)。

福祉に求められているふれあいの気持

妻有荘に入居している熊倉幸平さんは、おばあさんを亡くしてから、福祉というものを考え直したんです。「お金じやない、福祉には、精神的なものがだいじだね。熊倉幸平さんのおっしゃる精神的なものとは、市民みんなのあなたたいふれあいの気持なのです。福祉には、この人と人とのあなたたいふれあいの気持が必要なのではないでしょうか。

市社会福祉大会にご参加を
期日 八月二十日(土)午後一時
場所 市民会館
多数おいでください

八月のうた

日頃、思っていること、感じていることを詩や俳句、川柳にまよめてみませんか。この欄に発表の場を設けました。企画財政課企画広報係(電話七二二一―番)へお申し込みし投函してください。



2千年ハス

ハスの花は、仏教に結びついて、極楽浄土の花、真土の花とされている。ハス博士として親しまれた大賀一郎博士が、千葉県横見川の葦原の地中から苦心の末、古代ハスの実を発掘、発芽に成功された。その2000年ハスの一部が吉田宝泉寺の境内に、ところせましと可憐な花を咲かせている。

盆詣り

腰曲げて来る
ふるさとへ

工ミス木 坂南

朝の町

人のまばらな朝の町
リヤカーを引く野菜売りのおばあさん。

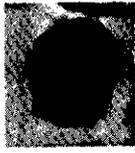


山田ヨキ 東枯木又

べたべた、べたべた黒い足
母の足を思い出す
「枝豆はいらんかね
もぎたての茄子にキュウリ
つやつやとさわやかな朝日に
光る。」

昨年二月、東枯木又地域に俳句のグループが生まれました。私も仲間入りし、初めて作ってみました。俳句がこんなに楽しいものとは知りませんでした。農作業のかたわら、身のまわりの

市民誕生



文夫文子さん 長女 (落之水)

県立十日町病院の新生児室は、元気な赤ちゃんでいっぱい。暑さを吹とばすかのように大声で泣いている赤ちゃんもい

ました。八月二日に誕生した文夫さんの赤ちゃんは、看護婦さんに見守られながら、お目目をあけたり、つぶつたり忙がしそ

市民相談窓口の利用を

このほど、昭和五十年年度の市民相談利用状況がまとまりました。この一年間、市民相談で取扱った総件数は、七百五十五件で昨年より四百件も増えてい

市民相談のまとめ



さらに市民のみなさんのたくさんの声や意見などお待ちしています。

生の声を市政に反映

※たくさんさんの声、意見をいただきました

最も多い道路関係

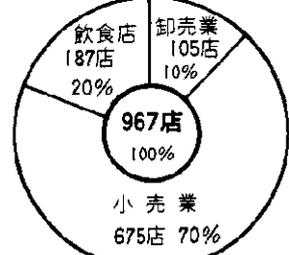
市政に関する相談で最も多いものは、市道関係で百三件と大幅にふえました。ついで、交通事故七十四件、福祉関係四十三件、年金三十四件と続き境界確認、保育所入所、水道料金問題等意見、要望も多岐にわたりました。

そのほか、遺産相続、家庭問

商店数は967店

大型店対策などで、市内の商店は活発な動きをみせていますが、市商工課では、このほど昭和51年商業統計調査の結果をまとめました。今回の調査によると卸売業、小売業、飲食店を合わせた市内の商店数は967店、従業者数は4,291人、年間販売額は1,365億9,319万円でした。

これを昨年と比べると、卸売業、小売業、飲食店とも商店数、従業者数は若干の増加を示し、年間販売額については小売業、飲食店がそれぞれ48.5%、32.5%の伸びを示しました。しかし、総年間販売額の80%を占める卸売業は16.0%と比較的小幅な伸びにとどまりました。



小売業

| 年 | 商店数 | 従業者数 | 年間販売額 |
|--------|------|--------|------------|
| 51年 | 675店 | 2,532人 | 2,495,620円 |
| 49年 | 666 | 2,408 | 1,680,456 |
| 増減数 | 9 | 124 | 815,164 |
| 増減率(%) | 1.4 | 5.2 | 48.5 |

飲食店

| 年 | 商店数 | 従業者数 | 年間販売額 |
|--------|------|------|----------|
| 51年 | 187店 | 637人 | 221,790円 |
| 49年 | 176 | 621 | 167,367 |
| 増減数 | 11 | 16 | 54,423 |
| 増減率(%) | 6.3 | 2.6 | 32.5 |



問 私の家の前にあるごみステーションで収集車が過ぎ去った。灰は収集してくれないのか...

8月の草花 作業 鉢植え春花壇用一年草のタネまき、花壇や鉢植えの灌水、秋植え球根の植えつけ準備、ダリアとサルビアの切りもどし、小ギク玉づくりの最終検心、ポインセチアのさし芽と鉢上げ、ハイドランジアの手入れ、ハボタンの移植と害虫駆除、夏花壇の手入れ

